



DELICA
SPECIAL SITE

HOT TOPICS

SPECIAL MOVIE

SPECIAL PROJECTS

f t 8+

世界最高峰の雪質を求める
山岳ガイドのチャレンジ

MENU

山岳ガイド

塚原 聡 つかはら さとし

川も海も雪山も
大自然に導かれたライフスタイル

山岳ガイド、そしてバックカントリーライダーとして春夏秋冬、アウトドアのフィールドを味わい尽くす塚原聡氏。北海道・赤井川村を拠点に「HOKKAIDO BACKCOUNTRY GUIDES」を主催する、野山遊びのプロフェッショナルである。

山、雪、川、海。故郷・北見市を含めて、北海道は遊び場の宝庫だ。幼少時から外遊びにのめり込んでいた塚原氏を本格的にアウトドアに目覚めさせたのは、川だった。学生時代は釣りやカヌー遊びに明け暮れ、大学を卒業した後は日本が誇るカヌーイストにして作家の野田知佐氏とユウコン川探検へ。その後、本格的な釣りのガイドを目指してニュージーランドへ渡る。帰国後は札幌のガイド会社に在籍。以来、およそ20年をアウトドアフィールドで過ごしている。

「山岳ガイドとして仕事を始めた90年代後半から、雪山に取り憑かれてしまって、最高の雪があると聞けば、ロシアへ、アラスカへ、ヨーロッパへ。世界の果てまで旅してわかったことは結局、「北海道の雪質が世界最高！」ってことでした」

2006年からは活動ベースを、北海道の中でも上質なパウダースノーを誇る赤井川村へ移した。「ロッジAK」、北海道の野山を遊び尽くすために作り上げた、塚原氏の「ベースキャンプ」である。



外遊びの天才が繰り出す
北海道発、四季折々の愉悅



近隣にキロリゾートを擁する赤井川村に、ベースキャンプを構えて8シーズン白。人口わずか1200人ほどの村は、冬になると深い雪に閉ざされる。今こそその上質なパウダースノーから海外からのツーリストも注目を集めるエリアだが、冬は雪との闘いの日々である。

「一晩のうちに積もった150cm近くの雪を2時間かけてかく、なんてこともざら。僕も本来は都会派なので（笑）、確かに暮らすには難儀します。でも、そうした苦勞を経験するからこそ得られる魅力や飲みがある」

夏は目の前に流れる川で沢遊び、海まで出かけてシーカヤック。冬は近場の無名峰を滑り降りる。毎日遊んでも遊び尽くせないくらい、遊ぶ場所には事欠かない。

「言うなれば、金鉱の鉱脈に住んでいるようなもの。常に周囲を注意深く観察して、新しい遊び場を見つけるんです」

独自の視点と感性で磨き上げられた外遊びは毎年、多くのパウダージャンキーを惹きつける。天候、雪質、そして仲間。他のどんな場所でも得難い最高の体験を、ここ「ロッジAK」から発信する。

MENU

タフな“馬”のように どんな悪路も走り抜けるクルマ

たとえば知床でカヤックを楽しんだ後、大雪山でトレッキング。山岳ガイドとして、そして無類の「遊び」好きとして、アウトドアフィールドを縦横無忌に駆け回る。年間のアプローチ走行距離はおおよそ50,000km、日本の市場に登場したほとんどすべてのミニバンに乗ったことがあるという。そんな塚原氏にとって、クルマとは「道楽子のような存在」だとか。

「僕が好む遊び場へのアプローチはハードなことが多いので、どんな悪路もくいくい進める力強い足と、雑に扱っていてもそれにしっかり応えるタフさがマスト。そう考えると、クルマには自分と同じくらいの機動力と頑丈さを求めているのかも」

デリカD:5クリーンディーゼルの、スノーボードなどの長尺物を何枚も積める大容量の荷室を備えながらも、小回りの効くきびきびとした走りが気に入った。加えて、圧雪路、アイスバーン、パウダースノー、凍った轍と路面がめまぐるしく変化する真冬の北海道のシビアな状況にびくともしない安定感にも脱帽した。まるで“馬”のように安定した走りは、4WD制御技術の賜物だ。

“馬”、つまりアプローチを移動するための道具と捉えるなら、「道具はミニマルを極めたものがいい」と塚原氏は言う。シンプルであればその分、さまざまな使い方を考えられるし、使い手が想像力を働かせる余地がある。そのうえ、ミニマルな作りであればメンテナンスが容易になるというメリットもある。

「大事な道具には当然、愛着が湧きます。ずっと大切に使いたいから、僕たちガイドはクルマのメンテナンスも怠りません。しっかりメンテナンスを行って、大切な道具と長く信頼関係を築いていきたいですね」



▶ [後編] へ

Profile

塚原 聡

つかはら さとし

山岳ガイド

日本山岳ガイド協会
山岳ガイドステージII・スキーガイドステージII
雪氷災害調査チーム ガイド部門

Japan Mountain Guides Association
JAN level1

1990年代後半より、山岳ガイドとして仕事を始める傍ら、アラスカ、ロシア、ヨーロッパ、そして南米の果てまで足を延ばすことも。そして2006年、北海道 赤井川村に移住。豊富なアウトドアの経験と、独特な感性に基づいたガイドングで、世界中からやって来る多くのゲストたちに日々北海道の魅力を伝え続けている。



page top ▲